平成30年度 第4回恵庭市水と緑のまちづくり審議会（議事要旨）

日 時：平成31年3月5日（火）10：00～12：00
場 所：市民会館（2階） 中会議室

出席者： 【委員】（11名）

池永 允子・内倉 真裕美・内田 信一・大塚 武・岡本 浩一・下原 干城・
斉藤 浩二・豊田 栄・三浦 真吾・薬袋 真也・吉田 愛子

【市】（11名）

（市長）原田 裕・（企画振興部長）浅香 正人・（企画振興部次長）大槻 雄二
（まちづくり拠点整備室長）後藤 昭悦（建設部長）高橋 光男・
（建設部次長）高橋 英志（管理課主幹）萩原 由紀夫・
（管理課主査）小川 貴弘・林 辰徳
（花と緑・観光課長）小路 弘樹・（花と緑・観光課主査）斉藤 喜代彦

【事務局】（3名）

（まちづくり推進課長）岡田 貴裕・（まちづくり推進課主査）遠藤 美樹
（まちづくり推進課主任）吉田 智哉

【傍聴者】（1名）

欠席者： 【委員】（1名）

山口 裕美

事務局より「平成30年度 水と緑のまちづくり表彰の被表彰者について」の諮問書の提出。
（市長より会長に手渡し、コピーを各委員へ）

議事1. 恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営実施計画 平成31年度計画（案） について（報告）

（事務局より資料1、資料2、資料3に基づいて報告。）

（A委員）

資料を読んで公共施設の花づくりにかかわっている人が多くいることを感じたが、あまり広く紹介されていないように感じる。広報等で紹介することで新たなボランティア等が増えるのではないかと。

（事務局）

色々な団体と連携して恵庭市の花が形成されていることは資料作成を通して改めて実感した。取り組みについて現在もホームページ等では紹介しているが、今後より広い周知の仕方について検討したい。

（副会長）

公共施設花づくり基本指針及び整備運営実施計画の計画期間が平成31年度までとなっている。予算がついて相当大きなボリュームの花を整備できたと思うが、平成32年度以降に予算が無くなってそれらの継続ができなくなることがないよう、最終年である平成31年度には3年間の総括をし、予算がなくなった後どう継続していくか、関わってきた行政、また市民に協力ありがとうだけでなくアイデアをもらって、自主的に続いていくように、根付いていくようにしてほしい。

(事務局)

H31 年度には3 年の検証・課題の整理をし、今後の方向性を出していきたい。またその成果をこの審議会で報告し意見をいただきたい。

(会長)

他に質疑はないか？

※委員より質疑なし

議事 2. 恵庭ふるさと公園再整備実施計画について（報告）

(建設部管理課より資料 4「恵庭ふるさと公園再整備実施計画について」「恵庭ふるさと公園ワークショップ検討内容一覧」に基づき報告)

(B 委員)

伐採は H31 年春から始まるのか？

(管理課)

伐採時期は H31 年 12 月から開始予定。

(B 委員)

では H31 年夏までは公園を利用できるということか。了解した。

(C 委員)

2p. のワークショップ参加者一覧で、文教大学生の一番上の段が全て「-」となっているが、参加していないのでは？

(管理課)

文教大学のゼミ学生で希望者を募集したところ 7 名が応募したが、うち 1 名は毎回都合が合わず参加できなかった。

(C 委員)

参加表明はあったが来られなかったということで入れているということか。了解した。

p. 13 に黄金学園通り沿いに植込み植栽（一部立ち上がり有）とあるが、立ち上がりはどのくらいの高さか？整備のしやすさやバリアフリーのために簡単になるような前置きがあったが、恵み野商店街ではかなり上り下りの邪魔になるような話があった。

(管理課)

花壇について基本はブロックと地面の高さが同じだが、植栽スペースが 3 箇所あり、うち 1 箇所に低い立ち上がりを予定しており、机くらいの高さ。車椅子が下に入るような高さで、立ち上がりがありなおかつ手前に張り出しがあるような花壇を考えている。

(D 委員)

13p. のきれいな図面を見ると出来上がりが楽しみ。

14p. に樹名板とあるがどの程度の樹木に設置する予定か？

例えば、樹種名を表示したものと同一樹種で番号のみを表示したものをつくり、この番号のついた木の樹種は何かを当てさせるような表示があると教育と遊び心の二つの面から、いいと思う。

(管理課)

樹種の表示は作成する人数も限られており、実際に設置する段階で樹木医・造園業者等に意見を聞いて対象となる木を決めたい。残す 400 本全てにつけることは困難なため、シンボルとなるような木に絞りたい。

地域の小中学校の生徒にも意見を聞いて再整備を進めており、子どもも参加できるような活動も考えたため、そのアイデアについても検討させてほしい。

(副会長)

頻繁にワークショップを開催して進めたことがよくわかる。14p. で市民が今後もかかわっていく気運を示しているのは大事な部分だと評価したい。設計は終わったが完成に向けて定期的な話し合いの開催や、サポートクラブのようなものも作っていきそうだというのが見える。

今あるものの2/3を伐採するとのことだが、景観的にも樹木の順調な生育にも影響がないかが気になる。事前に検証しながら決めているとは思いますが。

また伐採した時、全て抜根するのかわ確認したい。

(管理課)

初年度に伐採し、2年度以降に全て抜根する。

(副会長)

伐った状態で残すことで伐ったということがわかるだけでなく、遊びが生じる。単に全てを抜根しないで、残すことでこれまでこのような林があったことがイメージできるようなやり方もあるので考えてほしい。

また13p. にプレーパークやバーベキューなどが楽しめる広場とあるが、バーベキューは日常的にできるようになったのか？

(管理課)

現在、市内の公園では基本的に認めず町内会活動のみ認めており、再整備後もルールを決め特例的に開放することになる。プレーパーク、デイキャンプ等の利用を考えており、ルール作りについては今後の市民との話し合いの中で基準を決めていく。

(副会長)

日常的に開放するのであればまずいと思った。他の利用者とのバッティングもあるためルールのもとでやっていただきたい。

(会長)

約1,200本のうち約410本を残すとのことだが、どの木を伐るのか専門家の意見を聞いて決めたのかを確認したい。伐ってしまったあとで伐らなければよかったということになっても元には戻らない。

(管理課)

樹木医の意見を聞いて決めた。残すものにはピンクのテープが巻いてあり、視覚的にもわかりやすくなっている。

(E委員)

植樹や花植えについてはよくイベントがあるが、伐採・抜根を子どもたちに見せるということもイベントとして、教育としてよいのではないかと。

(管理課)

検討します。

(会長)

他に質疑ないか？

※委員より質疑なし

議事 3. 平成 30 年度水と緑のまちづくり関連事業報告

議事 4. 平成 31 年度水と緑のまちづくり関連事業計画（案）

（議事 3. 議事 4. について花と緑・観光課より資料 5 に基づき説明）

（F 委員）

1. 水と緑のまちづくり事業⑨花のガイドブック作成で、5,000 部印刷することとされているが、配布先はどこを想定しているのか。また、不足したときは増刷する予定はあるのか。

（花と緑・観光課）

花に関連する団体や公共施設、石狩管内の他市町村、また道と川の駅等に設置し恵庭に花を見に来た方への配布を考えており、子ども用は市内の小学校に配布予定。数が少なくなったときには増刷する予定で予算もとっている。

（G 委員）

恵庭市花いっぱい文化協会の花壇コンクールで、受賞した小中学校の先生から予算が無くて花が買えなかったというような話が出るが、花は PTA で買い上げなのか？

（花と緑・観光課）

即予算対応することは難しいが、予算を抑えて花を豊かに見せる方法などを教育機関・花担当・関係機関で協議していきたい。

（G 委員）

学校に花の補助はしていないのか。

（花と緑・観光課）

学校からこのくらいの花を購入したいという希望があり、花いっぱい文化協会販売している。一割助成もある。

（G 委員）

50%助成は対象にならないか。表彰の席でそういった話が出るのはいかなものかと思う。

（花と緑・観光課）

どのような方法があるか検討させてほしい。

（B 委員）

学校は花苗を買うようになったが、町内会は会員が減り予算が減っているためか、花壇が減っている。市の助成だけでなく、まちで花苗が売れた分だけ町内会に還元するようにはしている。

学校の資金の出所がわからないため町内会のみ還元しているような状況。

（H 委員）

花壇について、他市町村も宿根草を植えるようになってきている。宿根草を入れると管理は簡単ではないが、今後のデザインのあり方を考える上で、色とりどりの 1 年草の花壇もいいが一部では宿根草を取り入れていくようにしてデザイン向上していけたら素敵だと思う。

（花と緑・観光課）

今後検討したい。毎年みんなで 1 年草の花植えに集まりたいなどの団体の考え方もあると思うが、こういうやり方もあるという PR ができればと思う。

(B 委員)

恵庭には春先に花が何もないという意見があり、昨年から越冬する花を試験的に植えている。本当は凹凸のある花を花壇に植えたらもっとすばらしいと思うが生産者と色々吟味しながら進めていきたい。

(I 委員)

グリーンバンク事業の見直しを図るとあるが、具体的にどう見直すのか？

(花と緑・観光課)

現在 336 本登録があるが、現況を確認し引き続き実施できるかどうかを検討する。

(会長)

市民からの樹木提供とは、庭の木を提供するのか、または苗木を購入するか？

(花と緑・観光課)

樹木がほしいという方と樹木提供の登録している方を橋渡しする。近年は問い合わせが無く木の状況が確認できていないため、確認したい。

(I 委員)

目的が推進・活動・開催等曖昧な表記が多いと感じる。実績に来場者数等がないため、例えば開催だけでなく来場者数など具体的な数字を決めたほうが精度の高い事業になるのではないか。

(花と緑・観光課)

数値化できるものとできないものがあるため、整理していきたい。

(会長)

2. 恵庭市緑化推進委員会③えにわ湖の自由広場桜の庭園整備事業について、去年まで植えたものはほとんど鹿の食害にあって枯れていると聞いている。以前と違い郊外は鹿が増えているため植樹してもものになるものか、考えてはどうか。ものにならないのであれば市内の公園に植えるなど考えたほうがよいのではないか。

(花と緑・観光課)

現地で鹿の被害は確認している。専門家に見て頂くことも視野に入れて H31 年度は進めていきたい。

議事 5. 平成 30 年度水と緑のまちづくり表彰の被表彰者について（諮問）（非公開）

（傍聴者退席後、花と緑・観光課より諮問の内容について説明）

5. その他

(事務局)

建設部管理課より、街路樹管理について報告がある。

(管理課より、別紙「街路樹に関する取り組みについて」に基づき街路樹剪定講習会の実施報告及び安全管理の実施状況の説明)

(会長)

では引き続きマニュアルについて。

(管理課)

今年度街路樹管理指針を策定した。今年度末に技術マニュアルを策定し、H31 年度よりそれに基づき街路樹管理を進めていく予定で、技術マニュアルを今回の審議会で報告し意見を聞く予定であったが、現在更なる拡充を考えており、平成 31 年度の審議会で持ち越すこととしたい。

(H 委員)

同じ基準、マニュアルに基づいて対応してくれるのはとてもありがたい。今後市民の苦情対応も、言われたらすぐ伐るようなことはなくなるのか。

(管理課)

技術マニュアルはまだできていないが、基本指針は内部で固めたため、苦情はその指針に沿って現場状況を確認し必要であれば伐り、残せるものは残すようにしていく。

(B 委員)

植樹帯の掃除をしていて、街路樹の根元の地面から生えている枝が邪魔になる。こういった枝は市民が自分で切ってしまうてよいのか。

(管理課)

通報があり、通行に支障がある部分などは管理課で剪定している。今回のような掃除の邪魔になるような枝は市民の方が切っていただいてもかまわない。伐った枝は連絡をいただいてこちらで回収する。

(会長)

他に全体を通して何かないか。
※委員より意見なし

(会議終了)